

目標達成計画

作成日: 令和5年 05月 08日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		夜間時の災害を想定した避難訓練の実施回数が少ない。また、法人本部に加えて、事業所として非常食の備蓄を増やす。地域と一緒に避難訓練を実施していない。	夜間想定避難訓練の実施回数が少ない為、夜勤をしている職員が一度は訓練できるようにする。	年間計画を立て、事業所内で月一回は夜間想定し訓練を実施していく。	12ヶ月
2		法人本部に加えて、事業所として非常食の備蓄が少ない。	法人での備蓄の他に、事業所としての備蓄を整える。	法人以外に事業所で備蓄するものをリスト化し、委員会を通し在庫チェックを行っていく。	6ヶ月
3		地域と一緒に避難訓練を実施していない。	地域の区長様に参加して頂き、助言を頂けるようになる。	運営推進会議の内容として、避難訓練を実施し、参加して頂く。	12ヶ月
4		苦情への対応について、外部の相談窓口として設置されていない。また福島県運営適正化委員会の設置がされていない。	民生委員の方、区長様等、地域の方に第三者委員になっていただく。また福島県運営適正化委員会の設置する。	運営推進会議で提案し、地域の方に第三者委員になっていただき、会議の際や定期訪問していただき、入居者の声を聞いていただく機会を設けていく。また重要事項に福島県運営適正化委員会を記載するとともに、周知する	12ヶ月
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。